

令和7年度令和の日本型学校体育構築支援事業武道推進モデル校事業
高畠町立高畠中学校 空手道授業実施報告

2025.1.9 報告者 飯野美智子

- 1 実施校 高畠町立高畠中学校
- 2 実施種目 空手道
- 3 対象学年 中学校2学年(7学級)210名
- 4 実施場所 高畠町立高畠中学校 武道館
- 5 実施日時 ①令和7年12月8日(月) 2クラス 8時30分～13時00分
②令和7年12月9日(火) 5クラス 8時30分～15時00分
③令和7年12月10日(水)3クラス 8時30分～15時00分
④令和7年12月11日(木)4クラス 8時30分～13時00分
- 6 指導者 遠藤 隆夫(山形県空手道連盟副会長)
飯野美智子(山形県空手道連盟普及指導員委員)
- 7 演武者 大山 花凜(南陽高等学校3年生、空手道部)12/8
青木 朱莉(東海大山形高等学校2年生、空手道部) 12/9
- 6 学習の流れ
- 1日目
- (1) 授業開始挨拶、開会
 - (2) 講師、演武者、観察者、担当 自己紹介
 - (3) 準備運動、礼法、立礼、座礼、立ち方、突き、受けなどの基本動作、模範形演武等
 - (4) 講師の先生から
 - (5) 閉会、授業終了挨拶
- 2日目
- (1) 授業開始挨拶、開会
 - (2) 準備運動、
 - (3) 立ち方、突き、受けなどの基本動作、エアー組手(グループ毎に審判、選手を廻る)
 - (4) 講師の先生から
 - (5) 閉会、授業終了挨拶
- 7 総括 礼に始まり礼に終わる礼儀・挨拶の大切さ、感謝の気持ちを忘れない事、発声、姿勢等を各クラス2時間ずつ説明しながら実施したところ、不安げだった生徒たちが大きな声で挨拶ができるようになり、自信を持てるように努力する姿勢が見受けられるようになりました。空手をやってみたかったという声もあり、ほぼ高評価であったと感じました。来年以降も学校継続できるよう依頼させていただきました。

- 8 感想の代表
- ・空手は柔道などと同じで素早く技をやらないといけないところに気づいた。空手の技は百個以上あるのを知れてよかったです。
 - ・自分の技が上手になるための努力だけではなく、教えてくれる人戦ってくれる人審判など関わってくれる人たちへの感謝やリスペクトも大事だと感じた。
 - ・武道で共通していることでもある「礼」や挨拶が大切ということが、学校生活でも大切であると考えさせることができた。
 - ・空手に先手なしという言葉を聞いて最初は身を守ったり攻撃したりするためのものだと思っていたけど、相手に敬意を持って行うものだと知った。
 - ・空手は嫌なイメージだったけど授業を受けてみて楽しかったし、それをきっかけに空手をもつとしたいなと思うことが多かった。
 - ・部活で武道関係の部活に所属しているけど「礼に始まり礼に終わり」と言う言葉は、どの武道でも共通するんだと知った。